Chapter 5 倒置

(1)

例文

- 1. This Lincoln did when he was very young. (208)
- 2. How much was destroyed by the war we shall never know.
- 3. This threat he was quite unable to carry out.
- 4. All these complaints he had to listen to. (209)

倒置には、(1) 文法上強制される倒置(倒置しなくては、文法的に間違いとされるもの)と、(2)任意に行われる倒置(筆者の自由な表現として行われるもの)との2つがある。基礎の勉強をしている学生にとっては、(1)が重要なトピックである。しかし、勉強が進んでいる学生にとっては、(2)がより重要に見えるようだ。

(1)の倒置は決まりきったところで現れる、表現を強調したいから起こる倒置であるのに比べて、(2)

の倒置の出現は多様であるので、それらの「パターンを全て覚えなくては」と思うからだろう。

だが、実は(2)の倒置は、読めれば良いだけであって、自分で書ける必要はない。これは(1)とは対照的である。(1)は自分で英作文をする際には、書けなければならない。

倒置で書かれた文章を読むということは、語順が正置ではないにもかかわらずSVOCの機能評価ができること、である。これは「パターンを覚える」という作業によるのではない。

倒置は文法的に間違いにならない限り、どのようにやっても良い。ということは、筆者としては、SVOCの機能評価については誤解が生じないということを弁(わきま)えた上で、語順を変えている。

伊藤和夫先生は、「英語の語順は"はずみ"で変わるようなものではなくて…」と仰ったのであるが、実際の英文を知っている人がそう言ったのは、まず正置文をきちんと読めるようにしなさいという以上の意味はないのだろうと思う。このことを実際の例文などで確認して行こう。

1. This Lincoln did when he was very young. (208)

この文が、リンカーン大統領について書いているもので、長い文章の一部であることが前提になっている。 それで読者は、thisは人物の固有名詞を形容しない(自動車のリンカーンなら、形容することはできる)。 ThisはLincolnを修飾しないので、

Thisが名詞であると分かる。この文は、Lincoln didまでを見て、ここがS-Vだと分かり、ThisがOであると分かる。これ(OSV)は、関係代名詞の目的格の省略と同じ形なので、ここまででの混乱はない。Whenが後続することで、この部分がThis(Lincoln did)…Vとならずに、主文構造であることが分かって文が終わる。これをリンカーンはやった、彼がとても若かったころに。

2. How much was destroyed by the war we shall never know.

どれほど多くが壊されたか、戦争によって は、私たちは知ることがない。 訳文としては、

「どれほど多くが壊されたか、戦争によってを、私たちは知ることがない。」である。

How much was destroyed by the war までは特殊疑問文として読んでいるが、we shallが目に入り、how much以下は、節なので、主語かなと思うが、文末まで読んで目的語と知る。

How much was destroyed by the war we shall never know

S V

[How much was destroyed by the war] we shall never know

s v O S V

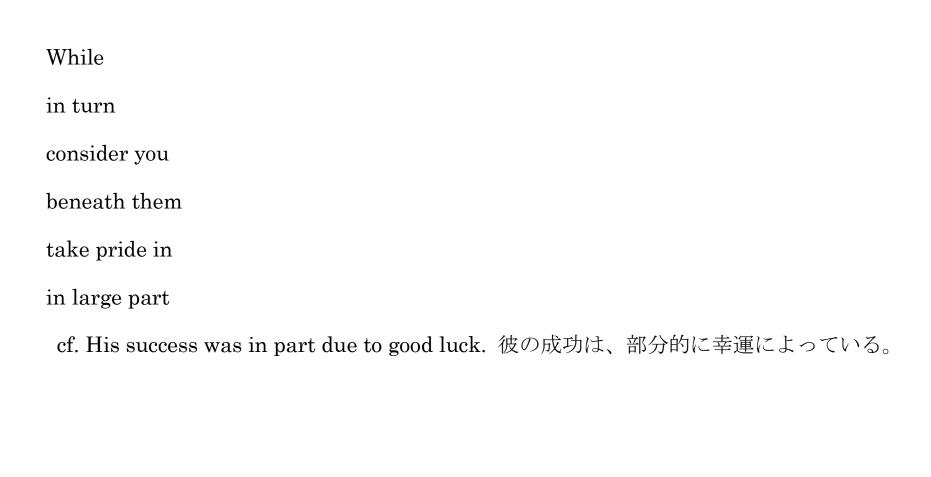
3. This threat he was quite unable to carry out.

This threat he was <quite> unable to carry out.

O S V

This threat だけを見てSを思うが、heを見て、OSVの接触節(関係代名詞の目的格の省略)と見て、文末まで行くと倒置と知る。この文も「this」で始まっている。「この」という指示語と、受けられる内容との距離を狭めて、受け継ぎ関係を明瞭にしたいということが倒置にした目的であると考えることができる。

語彙とポイント



in tern

- 1. They did it in turn.
- 2. A affected B and B affected C in turn.

3. I was surprised in my turn.

While it's good to know your own worth, it's bad to overestimate it. For many people whom you consider inferior may, in turn, consider you beneath them. The things you take pride in others may sneer at. They are in large part a matter of background and custom. Who can say which is better?

While it's good to know your own worth, it's bad to overestimate it.

It is good to know your own worth.

f S = f V = f C = f S'

<u>→to know your own worth</u> <u>is</u> <u>good.</u>

S V C

While は、同時(している間に)・随伴(しながら)・対比(一方で)

it's bad to overestimate it.も同様である。

For many people whom you consider inferior may, in turn, consider you beneath them.

<For many people (whom you consider inferior) may ときて

o s v c

For many people (whom you consider inferior) may consider you beneath them.

 \mathbf{S} \mathbf{V} \mathbf{O} \mathbf{C}

と気が付く。

The things you take pride in others may sneer at.

The things (you take pride in) others may sneer at.

S o s v

と読んで行き、others に出会って

The things (you take pride in) others may sneer at.

O o s v S V

と知る。

物事、あなたがプライドを持っているは、それを、他人が嘲笑っているかもしれない。

というような感じで読んでいる。勿論、これは逐次決定よりは同時決定寄りであるが、日本語を介在させているので同時決定ではない。逐次決定で読む、日本語ベースの読解では、ここくらいまでが限界であるが、これくらいできれば、実用の役には、まぁ立つだろう。

They are in large part a matter of background and custom.

They are <in large part> <u>a matter (of background and custom).</u> They=the things

C

それらは、大部分が、出自と習慣の問題だ。

Who can say which is better?

誰がどちらがより良いか言えるだろうか?